

## 令和2年度 第2回 政策調整会議 会議録②

◆開催日時:令和2年5月12日(火) 13:40~14:10

◆開催場所:第1委員会室

◆出席委員:堤副市長、大下教育長、残総合政策部長、寒川総務部長、坂井財務部長、吉田建設部長

### ◆審議事項

・市営自転車等駐車場の指定管理者募集に関する方針について……………建設管理課⇒承認

### ◆審議概要

#### 『市営自転車等駐車場の指定管理者募集に関する方針について』

〈説 明 者〉岸建設管理課長、神下交通安全担当長

◎付議依頼書に基づき説明

◎説明後、質疑応答

〈堤 副 市 長〉令和元年度の納付金決算額と提案納付金額との差額について説明されたい。

〈建設管理課長〉決算額は0になる見込み。

〈堤 副 市 長〉差額も▲82,500千円出ることになるので、記載しておくように。

〈建設管理課長〉承知した。

〈教 育 長〉利用料金制と使用料金制の違いは何か。

〈建設管理課長〉従来の利用料金制は、駐車場利用者が支払う利用料が全て指定管理者の歳入となり、そこから必要経費を差し引き市に納入する制度。一方今後予定している使用料金制は、利用料は全て市の歳入となり、必要経費を指定管理料として市から指定管理者に支払う制度である。利用料金制の場合、利用料金が落ち込んだ際には、事業者が資金を持ち出して事業をしなければならず、それを避け、安定的な運営を図るために変更を予定している。

〈教 育 長〉駐輪場の利用状況はどうなっているか。

〈建設管理課長〉下松駅では80%、蛸地蔵駅や和泉大宮駅等では40%など、駅によって異なっている。

〈教 育 長〉民間事業者の参入状況はどうなっているか。

〈建設管理課長〉民間がどれだけ継続的に事業を行っていくのか、またこれからの参入増減等は把握が難しい。

〈教 育 長〉市の料金と比べると安いのか。

〈建設管理課長〉安いところも同額のところもあるが、高いところはない。

〈教 育 長〉民間の活用はどう考えているか。

〈建設管理課長〉それも含め3年で検討する。

〈財 務 部 長〉企業の安定性を担保するために使用料金制導入以外の対策はあるか。

〈建設管理課長〉審査の際、これまでは過去1年であったところを過去3年の経営状態のデータから企業の

経営状況を確認すること、指定期間中についても施設だけでなく事業の収支状況を確認することとしている。

〈財務部長〉11施設を一体的に管理するのか分散させるのかについて、リスク分散と経費削減のバランスを含め研究・検討されたい。

〈教育長〉シルバー人材センターの活用は考えられないか。

〈建設管理課長〉過去には、シルバー人材センターが非公募による指定管理を行っていたこともあったが、民間の様々な運営方法も検討すべく公募に変更した経過がある。

〈教育長〉財政面から見たときにどちらにメリットがあるかを比較する必要がある。また、高齢者の雇用創出にもつながるため、それらも含め総合的に検討されたい。

〈建設部長〉3年間で、利用者の少ない施設の統廃合、民間施設との共存、リスク分散と経費削減のバランス等を総合的に調査・検討し、指定管理の是非についても今後検討していく必要があると考えている。

〈総務部長〉使用料金制を採用することで、経営の安定に資することはわかるが、財政的なメリットがあるのかどうか資料からは読み取れない。現状の利用料金制から使用料金制に変わったときにどの程度の収入が見込まれるのか、財政的な比較として見通しがあった方がよい。

〈総合政策部長〉今後稼働率を上げるために料金の見直しは行うのか。

〈建設管理課長〉行財政改革課と協議をし、現在の150円が妥当であるということになったが、継続して協議していくことになっている。

〈総合政策部長〉本案件について、一部修正の上、政策決定会議に諮ることとしてよいか。

【異議なし】

⇒本件、一部修正の上承認し、政策決定会議に付議する。

令和2年5月18日

## 政策調整会議付議依頼書

依頼者名 建設部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

### 記

付議事項名	市営自転車等駐車場の指定管理者募集に関する方針について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	指定管理者の選定において、公募時の募集要件を見直すことにより、指定管理者の施設管理・運営における安心性を確保することで、幅広い応募者の提案を受けを目的とする。
説明者	岸 建設管理課長 神下 交通安全担当長
付議事項の概要	別紙に記載。

別紙

付議会議	令和2年度 第2回会議
付議事項	市営自転車等駐車場の指定管理者募集に関する方針について

★取組の目的

対象	市営自転車等駐車場
どのような状態を目指す	指定管理者の公募に関し、公募要件の安心性確保と幅広い応募を期待することを目的とする

★総合計画上の位置付け

<b>106010102</b>	基本目標	I-6 海から山までをつなげ、新しい価値と活力を創出する
↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照)	達成された姿	(1)多彩な地域特性を活かした景観や拠点が形成されている
	目指す成果	①拠点の整備が計画的に進んでいる
	行政の役割	イ 駅の周りを安全で利便性の高い空間にする

★現状と課題

前回までの指定管理者の公募において利用料金制度を用い、当該施設の利用料金収入から指定管理業者の必要経費を差し引いた分(指定管理業者利潤分含む。)を納付金として市に納入してきた。  
近年、当該施設の利用料金収入が減少し続け、将来の利用料金収入の見通しが極めて不透明な状況になることから、変動リスクの軽減が必至となる。  
また、今般の新型コロナウイルス感染等による、指定管理者の責に帰さない外部要因により利用料金収入が大きく減少したときに、指定管理者に大きな経済損失が生じ、自転車等駐車場の運営が不安定に陥り、指定の取り消しや業務の停止に及ぶ可能性がある。  
よって、上記内容を回避するために別添概要のとおり対応を講じたい。

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項	決算(見込額)		予算額	見込額				
	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
自転車等駐車場指定管理委託料				99,000	101,000	105,000		
財源内訳	国費							
	府費							
	起債							
	一般財源							
	その他				99,000	101,000	105,000	
事業費			計	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			305,000	99,000	101,000	105,000		

★当該事項に関連する人員増の必要性\*

人員増の必要性	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
有					
無					

★取組の効果を表す指標

指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	目標値				
					R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
① 鉄道駅周辺の市街地に活気があると感じている市民の割合	%	17.2	19.0			17.2			
②									

※事業費及び人員を確約するものではない。